

獣の通る道 (1959)

メディア 映画

ジャンル アクション

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1959/02/24

【解説】

中村八朗の同名小説を「影なき声」の佐治乾が脚色し「母と拳銃」の関川秀雄が監督したアクションドラマ。撮影は「石合戦」の仲沢半次郎、音楽は「決闘街」の木下忠司。「無法街の野郎ども」の高倉健と「忠臣蔵 櫻花の巻・菊花の巻」の中村賀津雄が共演している。

不良少年の水原勉は、裏町を支配するヤクザの桑山に憧れていた。バー〈クール〉で働く妹マリは兄の勉を心配するが、桑山に見込まれた勉は麻薬密売を任されてしまう。喫茶店〈エトワール〉のマダムである圭子には谷雄という息子がいたが、彼は勉との間で不良少女の亜紀子を取り合っていた。マリが想いを寄せる〈エトワール〉のバーテンの鹿沢は、かつて殺人の罪で捕まったことがあり現在は保釈中の身だったが、桑山によって勉やマリの目の前で過去を明かされた。ある日、谷雄は亜紀子の家に忍び込み、そこで桑山の手下に見つかり射殺されてしまう。

【クレジット】

監督 関川秀雄

企画 斎藤安代

原作 中村八朗

脚本 佐治乾

撮影 仲沢半次郎

美術 進藤誠吾

音楽 木下忠司

出演 高倉健

中村賀津雄

佐久間良子

木村功

山東昭子

志村喬